

地域とともにある
学校づくりのために

Community School

CS 通信

北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ

これまで発行した
CS通信や「コミュニ
ティ・スクール」に関
する情報はこちらへ



北海道 子ども地域支援

検索

《子ども地域支援グループHP》

コミュニティ・スクール推進協議会(空知)

去る11月20日(水)、空知管内(会場:空知合同庁舎、参加者70名)で、本年度、最後のコミュニティ・スクール推進協議会が開催されました。実践発表の概要を紹介します。

■ 実践発表 ① 夕張市教育委員会主幹

立花 克一 氏



- 夕張市では、市内の道立高校と高等養護学校、所管する幼稚園、小学校、中学校の全てにCSが導入されている。
- 導入の際は、設立準備委員会を立ち上げ、夕張市においてCSを導入することのメリットについて十分に話し合い、従来からある「小中学校サポート会議」と「学校支援地域教育協議会」を生かして学校運営協議会を設立した。
- CSの導入により、校種を超えた子ども同士の交流機会の充実など、成果が見られている。

■ 実践発表 ② 栗山町教育委員会学校教育グループ指導主事 田中 雅志 氏



- 栗山町では平成25年から3年の準備期間を経て、平成28年に学校ごとに学校運営協議会を設置した。
- 各学校に従来からあった地域教育協議会と新たに設置した学校運営協議会がパートナーとして連携・協働し、地域人材や施設等と学校をつないでいる。
- 豊かで有意義な土曜日を実現するため土曜授業の充実に努めており、クリーン作戦や防災教室、キャリア教育発表会などを各学校の特色に応じて実施している。

道立高等学校のCS実践事例集が追加発行されました。

道立高等学校8校分(栗山高等学校、夕張高等学校、寿都高等学校、追分高等学校、美瑛高等学校、清里高等学校、上士幌高等学校、別海高等学校)のCS実践事例集が追加発行され、高校教育課のHPに掲載されました。CSは、校種間の連携による取組の充実も大切な視点となっていますので、是非参考にしてください。

～道立高等学校のCSに関する情報は～

HP アドレス : <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/26csnopeiji.htm>

問合せ先 : 高校教育課高校企画 ・ 支援グループ TEL 011-204-5778



【担当から】本年度の推進協議会は、全14管内で合計約570名の方々に御参加をいただきました。数多くの皆様方に御参加いただいたことに、改めて感謝申し上げます。次年度は、各学校や地域が抱える課題解決に、より一層資する内容となるよう工夫したいと考えています。

(担当 : 子ども地域支援G 主査 吉村 公孝)